

キンダーブック じゅにあ 11月号

表紙の絵から

秋晴れの日、ちゅうくんは外でお絵描き中。ぶどうやきのこなど、秋の食べ物がおいしそうに描けています。とんぼやもぐらもちゅうくんの絵が気になっているようです。少し寒くなってきましたが、まだまだ外遊びが気持ちのよい季節です。外でどんなことをしたいか話してもよいですね。



きれいに しよう



ねらい 手洗いやうがいのたいせつさを知らせ、習慣づけましょう。

「あれ、ちゅうくんやももちゃん、にゃおくんの口や手にばい菌がついているね」「なんでばい菌がついているのかな？」と、手や口のばい菌に注目させ、外から帰ってきたら目には見えないばい菌がたくさんついていることを伝えましょう。そしてばい菌を追い出すために、何をしたらよいのかいっしょに考えてみましょう。



「ちゅうくんは手を洗っているね」「ももちゃんは何をしているのかな？」「にゃおくんについていたばい菌がいなくなったね」と具体的に話しましょう。「みんなはきれいに手を洗えるかな？」「うがいもできるかな？」などと問いかけていねいに手を洗うことやうがいのたいせつさを意識できるとよいですね。手洗いやうがいが風邪や病気の予防につながることも伝えましょう。

かさこそ おちば



ねらい 落ち葉の種類や感触について知り、身近に感じられるようにしましょう。

つかい方のポイント 「いろいろな色があるね」「形も大きさも違うね」などと、さまざまな種類の落ち葉があることに子ども自身が気づけるように話しましょう。本物の落ち葉を拾って誌面の写真と比べてみるのも楽しいですね。

おにわの おんがくかい



ねらい 身のまわりの音が音楽になっていく楽しさを想像しながら読みましょう。

つかい方のポイント 偶然鳴ったびんちゃんとバケちゃんの音にひかれて仲間が集まり、音楽会が始まります。お話を読んだ後に、どんぐりを落としたりびんを吹いたりして、身近な物でどんな音が出るのか試してみてもよいですね。

「キンダーブックじゅにあ」を 保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
 「きれいに しよう」	<ul style="list-style-type: none"> ● 手洗い、うがいの方法を知る。 ● 手洗い、うがいが必要な理由を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育者が手洗いやうがいをする姿を実際に見せながら、子どもが身につけられるようにする。 ● 手洗いやうがいをなぜ行うのか、必要性を子ども自身が考えられるように問いかけ、わかりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 言葉 人間関係
 「かさこそ おちば」	<ul style="list-style-type: none"> ● 落ち葉にさまざまな種類があることを知る。 ● 落ち葉を拾って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵本だけでなく、子ども自身が実際に落ち葉にふれて色や形や大きさなどを体験できるように、環境を用意する。 ● 散歩や外遊びのときに、保育者も子どもといっしょに落ち葉を探しながら、子ども自身が見つけられるように支援する。 ● 落ち葉の山を作る、葉っぱ屋さんを開くなど、子どもの想像力が広がるような遊びの援助をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境 言葉 表現